

大阪新聞錦画

十二号

大阪新聞錦画

大阪新聞錦画

明治八年五月の頃東京本所松本町二丁目金子清郎の  
 甘房おきみり子供四人をもち 央くまじやく年未入初め  
 咲く帰りに花薄さうもあそあそらぬ生の職人と悪いまを  
 し居るが亭主おれ彼れ男へんて仕まのおきみりすうへて  
 清郎鉈で頭を 切込みてえとさう血へ紅ひを翻車か  
 きくく大さうさ  
 此頃親皇へ引取  
 療治しく居る

室主大人味の大  
 待夜し  
 百屋号で戒しむ  
 又此堂

